

■全数把握対象疾患(結核を除く)

五類感染症の**侵袭性肺炎球菌感染症** 1 人の報告がありました。

★インフルエンザが流行警報レベルとなっています！

■定点把握対象疾患

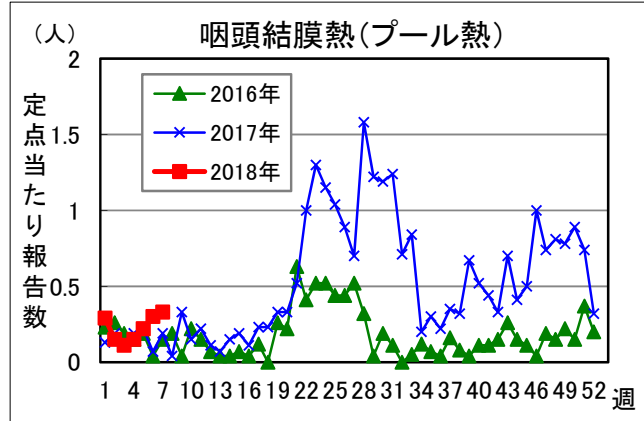
インフルエンザの定点当たり報告数は、先週の 41.05 人から 22.34 人(報告数 916 人)と減少しました。しかし、流行警報終息基準値(定点当たり 10 人)を超えているため、引き続き注意が必要です。ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

咽頭結膜熱、伝染性紅斑の報告が増加しました。

咽頭結膜熱は、通常夏期に流行しますが、最近では季節を問わず発生し、冬季の流行も見られます。感染予防のため、日頃より流水と石けんによる手洗い、ウガイを励行するよう心がけましょう。また、タオルの共用は避けましょう。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の報告が多い状況です。

無菌性髄膜炎の報告が 1 人(0 歳)ありました。



■定点当たり報告数表(第7週 2月20日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	22.34	↓	★★
RSウイルス感染症	0.30	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	0.33	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63	↓	★★
感染性胃腸炎	5.70	↓	★
水痘(みずぼうそう)	0.22	→	★
手足口病	0.00	→	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.07	↑	★
突発性発しん	0.33	↓	★
ヘルパンギーナ	0.00	→	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.04	→	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	0.75	→	★★
細菌性髄膜炎	0.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	1.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	8.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

★3月1日(木)～3月7日(水)は子ども予防接種週間です★



入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

子どもの定期予防接種に関する詳細は、市ホームページ「子どもの予防接種のご案内」をご覧ください。

4月から小学校に入学されるお子さんは、**麻しん・風しん**の定期予防接種(第2期)の対象です。市ホームページ「麻しん風しん定期予防接種のお知らせ」をご覧ください。

感染症発生動向調査 週情報 (患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)

(2018年第7週 平成30年2月12日～2月18日)

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	916	22.34	-	12	34	41	48	85	59	56	41	43	40	155	49	30	42	67	44	29	26	15
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	8	0.30	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	9	0.33	-	1	2	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.63	-	-	-	1	3	5	9	8	4	3	2	8	-	1						
感染性胃腸炎	154	5.70	1	4	12	19	11	17	11	12	15	9	4	23	2	14						
水痘	6	0.22	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	1	-	-						
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	2	0.07	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	9	0.33	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.75	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	1.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	8	8.00	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… 22.34 : 警報レベル、 0.75 : 注意報レベル

2月 20日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2018年)

類型	疾患名	2018年 第7週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2	疾患名	2018年 第7週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	1	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	40				
四類	E型肝炎	0	0	0	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	3	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	1	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	2	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	3	16	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0	6	先天性風しん症候群	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	2	7	梅毒	0	3	67
	急性脳炎	0	8注)	20	播種性クリプトコックス症	0	0	2
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	8	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	2	8	百日咳 ※4	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	10	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	29				
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。				注) 第6週に報告された届出(1人)は取り下げられました。			
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2017年累計は速報値となっています。

※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。

※4 感染症法施行規則の一部改正により、2018年1月1日から全数把握対象疾患となりました。